

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスこどもラボ東雪谷		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ヨガ、アート、運動遊び、頭脳遊び、体験活動など5領域に基づく支援プログラムを実施している。	・プログラムの実施においては、一人ひとりの個性や成長をしっかりと見定めながら参加の方法や楽しみ方を考えている。	・プログラムを通して色々なことを経験していけるように新たな内容のものにも積極的に取り組んでいく。
2	・清潔で心地よく過ごせる環境を整備している。 ・子どもたちの活動に合わせた空間を整備している。	・通常の掃除に加えて、滑り防止のためにフロアの水拭きを毎日行っている。 ・子どもたちそれぞれがやりたいことに取り組んでいけるように活動毎にコーナーを設けている。	・子どもたちそれぞれがやりたいこと、やってみたいことに伸びのびと取り組んでいけるように引き続き備品や環境を整備していく。
3	・子どもたちが安心感をもって楽しく通所している。	・子どもたちが安心して何でも話ができるように明るく楽しい雰囲気作りを留意している。 ・子どもたちそれぞれがやりたいこと、やってみたいことに伸びのびと取り組んでいけるように備品や環境を整備している。	・子どもたちの思いや気持ちを尊重しながら、伸びのびと自己を表現していけるように引き続き寄り添っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブ、児童館、地域の他の子どもと活動する機会を設けていく。	・不特定多数の人との接触が苦手な子どもがいる。 ・コロナウイルス感染症の拡大以降、外部の施設や公園への外出が減った。	・保護者のニーズ、子ども一人ひとりの思いを尊重しながら、場面ごとに必要に応じて対応していく。
2	・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)、家族等も参加できる研修会、情報提供の機会等を設けていく。	・コロナウイルス感染症の拡大以降、親子参加型イベントの開催が減った。 ・子育ての相談やアドバイスを個別のケース毎に行った。	・ニーズをしっかりと汲み上げながら、様々な機会を検討していく。
3	・父母の会、保護者会等の家族支援やきょうだいへの支援の機会を設けていく。	・コロナウイルス感染症の拡大以降、保護者懇談会等の開催が減った。 ・家族支援やきょうだい支援について、個別のケース毎に行った。	・ニーズをしっかりと汲み上げていくとともに、足元の衛生環境、子どもたちの健康状態等をしっかりと見極めながら様々な機会を検討していく。